

2025 年 1 月 30 日

農林中央金庫 秋田支店

秋田県立大学における地域金融教育に関する出張授業の実施について

2024 年 12 月 13 日（金）、農林中央金庫 秋田支店は、職員を、秋田県立大学 生物資源科学部における講義「農業経営学」（上田 賢悦教授）に派遣し、地域金融教育にかかる出張授業を実施いたしましたので、お知らせいたします。

1 取組みの概要

金融教育については、経済・社会環境の変化を背景として、近年、その重要性が一層高まりつつあります。昨年 4 月には金融経済教育推進機構が設立されるなど、各所で金融教育の推進が進められています。

J Aバンクあきたにおいても、地域に根差した金融機関として、金融教育にかかる地域のニーズに応えることは極めて重要であると認識しております。

かかる状況の下、秋田県立大学と連携し、講義「農業経営学」において 90 分間の出張授業を実施いたしました。出張授業では、農業経営や農業金融について学んでいたくことを通じて、同講義が目指している「農業生産を科学的に管理・運営することのできる農業経営者等の育成」を後押しいたしました。

2 出張授業の内容

今回の授業では、農業者の視点で体感的に農業経営を学ぶことができる、J Aバンクが独自に制作したシミュレーションゲームを実施いたしました。このゲームは、就農に向けて準備し、作物を栽培し、販売していく一連の過程を 3 年間にわたって種々の経営判断を行いながら体験するもので、初期投資に要する資金調達やリスク対策を計画し、収支管理を行うなど、農業経営についての学びを多面的に提供するものです。

続いて、金融機関側が農業者に融資を行う際に、どのような視点で農業経営を見ているかというトピックについて解説を行いました。運転資金と設備資金の違いなど、実際に財務諸表等を指し示しながらお伝えいたしました。

このように、農業者視点のワークショップと、金融機関視点の解説とを組み合わせることにより、農業経営について、農業者自身と、それをサポートする金融機関、両者の視点・視座を理解したうえで農業経営や農業金融の全体像を捉えることができる授業構成としました。

授業の具体的な内容につきましては、以下をご覧ください。

	題 目
1	そもそも銀行とは？～JA バンク（JA・農林中央金庫）について～
2	生きるチカラにつながる経営思考！農業経営ゲームで学ぶ将来とお金のこと
3	農業融資にかかる金融機関の目線



▲シミュレーションゲーム中の様子

3 今後の取組み

JAバンクあきたとしては、引き続き、地域に密着した金融機関として、地域の家庭や教育現場のニーズに応えるべく、「JAバンクらしい」地域金融教育の展開を進めてまいります。

○本件に関するお問い合わせ先

農林中央金庫 秋田支店 総括班 担当：田村、宮中

〒010-0976 秋田県秋田市八橋南 2-10-16 秋田県 JA ビル 2 階

田村 Tel：050-3853-1288 E-mail：michitaka-tamura@nochubank.or.jp

宮中 Tel：050-3853-3995 E-mail：d-miyanaka@nochubank.or.jp